

資料3

図1-5 読書習慣、勉強時間、睡眠時間と学力の関係 (読書を全くしない)

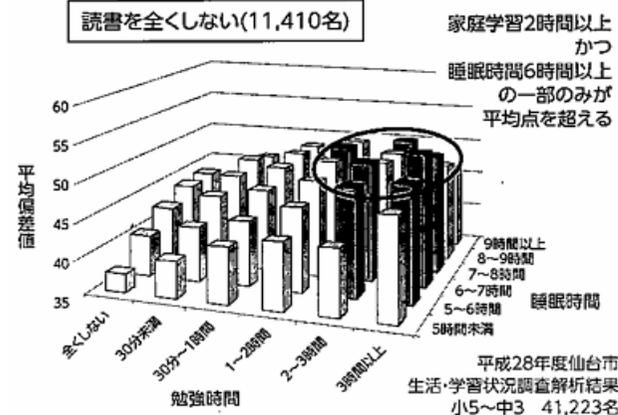


図1-6 読書習慣、勉強時間、睡眠時間と学力の関係 (読書時間が1時間未満)

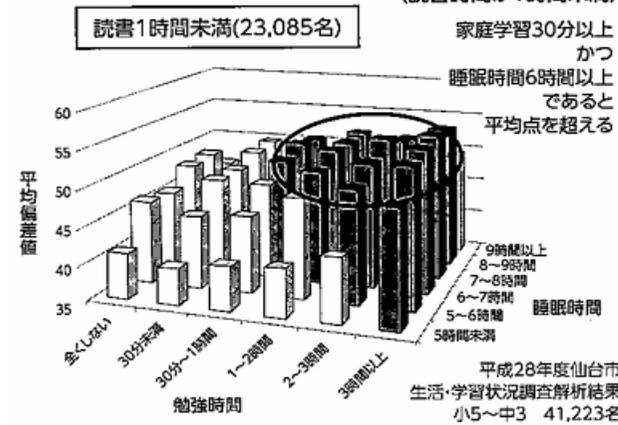
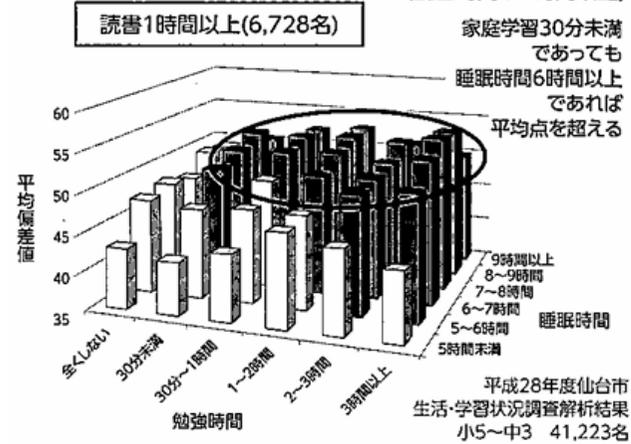


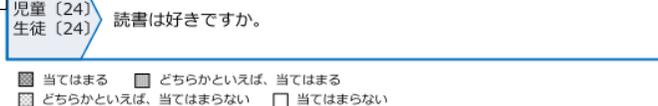
図1-7 読書習慣、勉強時間、睡眠時間と学力の関係 (読書時間が1時間以上)



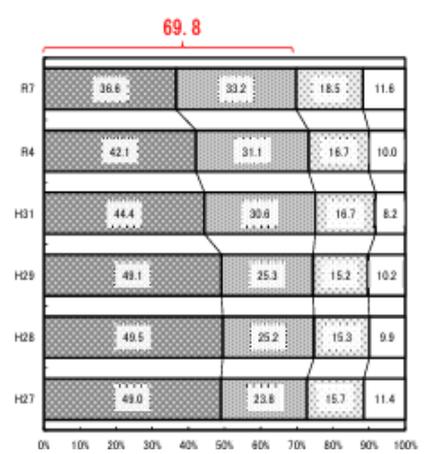
資料1 中学生の5月1か月間の平均読書冊数の推移



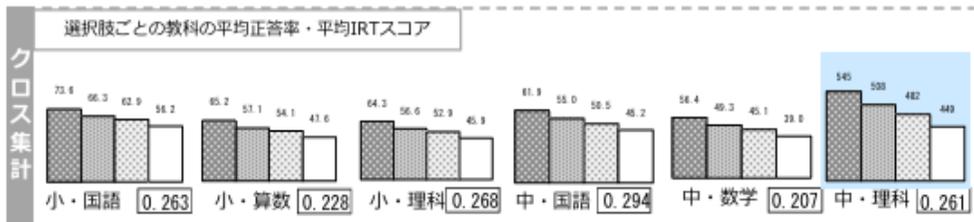
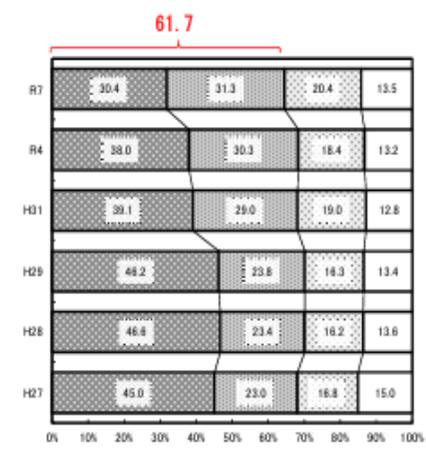
資料2 児童(24) 生徒(24) 読書は好きですか。



小学校



中学校



集めた情報や事実

- ①本校一年生の二〇二五年度四月一日〜九月十一日までの貸し出し冊数の合計は二〇十一冊。一ヶ月間の平均読書冊数は一人あたり約二・三二冊であった。一番借りた人は一一六冊であり、一番借りていない人は〇冊である。二〇二三年度の一年生の貸し出し冊数は同時期で二八三八冊、二〇二二年年度の一年生の貸し出し冊数は同時期で二五四三冊。
- ②資料1より、中学生の一ヶ月間の平均読書冊数が読み取れる。
- ③生成AIによると、「読書は脳の多くの側面を活性化させるため、結果的に頭が良くなると言えます。脳の神経回路の発達を促し、認知能力全体が向上することで、さまざまな場面で応用が利く「頭の良さ」につながるのです」と述べている。
- ④東北大学教授川島隆太によると、「本を読むだけで脳全体が活性化する」「(本を読むだけで脳は若返る)」(P16)「本好きの子どもの学力は明らかに高い」(P35)と述べている。
- ⑤資料2より「読書が好き」と答えた児童生徒の平均点が高かった。
- ⑥平成二八年度仙台市生活・学習状況調査解析結果によると資料3のような結果となった。

出典

- ①図書室貸し出しデータより
- ②光村図書「国語1」より
- (全国学校図書館協議会他「学校読書調査」を基に作成)
- ③チャットGPTより
- ④川島隆太「本を読むだけで脳は若返る」(PHP新書)
- ⑤(令和七年度全国学力・学習状況調査 報告書・調査結果資料より)
- ⑥平成二八年度仙台市生活・学習状況調査解析結果より

A-2

↳GRP 一年生に必要なもの

根拠を明確にしてレポートを書こう

【めあて】説得力のあるレポートにするため、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしよう。

名前

今日の課題

○三角ロジックの例から改善点を考えよう。

私の考えた改善点

班活動・全体交流の中で発見した改善点

まとめ 三角ロジックの例の改善点から考えた説得力を高めるポイントは？

課題

仮説

1 事実（資料・データ・引用）

2 1の事実からわかること

3 1、2を踏まえた考察

仮説に対する考察

四

エラーモデルで考えたことと、
三を元に、根拠を明確にしよう。

振り返りと次回への見通し

課題 読書をすることと学力向上にはどのような関係があるのか
疑問に思い調べることにした。

仮説 読書をすると学力向上につながるのではないだろうか。

1 事実 (資料・データ・引用)

① 本校1年生の2025年度4月1日～9月11日までの貸し出し冊数の合計は2011冊であった。2024年度は1874冊、2023年度は2838冊、2022年度は2543冊であった。1ヶ月間の平均読書冊数は一人あたり約2.32冊。一番借りた人は116冊であり、一番借りていない人は0冊である。

② 生成AIによると、「本を読むことは、頭の良さにつながる」と述べている。また、東北大学教授川島隆太によると、「本を読むだけで脳全体が活性化する」「本好きの子どもの学力は明らかに高い」と述べている。

③資料2より

- ・「読書は好きですか」という質問項目に、「当てはまる」と答えた中学生の、国語の平均正答率は61.9%、数学は56.4%だった。
 - ・「どちらかと言えば、当てはまる」 国語 55%、数学 49.3%
 - ・「どちらかと言えば、当てはまらない」 国語 50.5%、数学 45.1%
 - ・「当てはまらない」 国語 45.2%、数学 39.0%
- (令和7年度全国学力・学習状況調査報告書・調査結果資料)

2 1の事実からわかること

- ① 本校1年生の読書量は例年より少なく、読む人と読まない人で差があることがわかる。
- ② AIや専門家が読書と学力に関係があると述べており、説得力がある。
- ③ 読書好きに当てはまる中学生の方が平均正答率が高く、国語だけでなく全教科で読書が学力向上につながっていることがわかる。

3 1、2を踏まえた考察

- ① 全国平均と比べてももっと読書をすべきだと考えられる。
- ② AIや専門家が述べているため、読書と学力には関係があるということができるだろう。
- ③ 読書好きな方が学力向上につながるため、読書好きになった方がよい。

仮説に対する考察

課題 読書をすることと学力向上にはどのような関係があるのか
疑問に思い調べることにした。

仮説 読書をすると学力向上につながるのではないだろうか。

1 事実 (資料・データ・引用)

- ① ニンテンドーDS用ソフト「脳を鍛える大人のDSトレーニング」シリーズの監修を務めた東北大学教授・医学博士川島隆太によると、「本好きの子どもの学力は明らかに高い」(「本を読むだけで脳は若返る」P35)と述べている。
- ② 平成28年度仙台市生活・学習状況調査解析結果によると、図のような結果となった。
- ③ 「読書は好きですか」という質問項目に、「当てはまる」と答えた中学生の、国語の平均正答率は61.9%、数学は56.4%だった。
 - ・「どちらかと言えば、当てはまる」 国語55%、数学49.3%
 - ・「どちらかと言えば、当てはまらない」 国語50.5%、数学45.1%
 - ・「当てはまらない」 国語45.2%、数学39.0%(令和7年度 全国学力・学習状況調査 報告書・調査結果資料より)

2 1の事実からわかること

- ① 大ヒットとなった「脳を鍛える大人のDSトレーニング」シリーズの監修を務めた専門家が読書と学力に関係があると述べていることがわかる。
- ② 読書を全くしないと答えた児童生徒は、家庭学習2時間以上かつ睡眠時間6時間以上の一部のみが平均点を超えていた。
 - ・読書時間が1時間未満の児童生徒は、家庭学習30分以上かつ睡眠時間6時間以上であると平均点を超えることがわかった。
 - ・読書時間1時間以上の児童生徒は、家庭学習30分未満であっても睡眠時間6時間以上であれば平均点を超えることがわかった。
- ③ 国・数・理 3教科それぞれでも「読書は好きですか」という質問項目に肯定的回答をした中学生の方が否定的回答をした生徒より、平均正答率が高いことがわかった。

3 1、2を踏まえた考察

- ① 読書と学力の関係があることを専門家が述べている。
- ② 読書以外にも学力に関わりがあると考えられる生活要因として、家庭学習時間、睡眠時間がある。それを考慮しても、読書時間が長い児童生徒の学力は高く、読書をすることと学力向上には密接な関係があると言えるだろう。
- ③ 3教科それぞれで、読書が好きな生徒の平均正答率が高いことがわかった。このことから国語に限らず、他の教科でも読書の効果があると言える。

仮説に対する考察

読書をすると学力向上につながると言える。また、読書時間が長い児童生徒ほど学力が高い傾向にあると考えられる。ただし、学力には睡眠時間や家庭学習時間など考慮すべき点もあり、一概に長く読書をすればよいというわけではない。そして、読書を好む児童生徒の方が3教科の平均正答率が高いとわかったため、読書を好むことも学力向上に効果があると言える。これらのことから、読書を楽しむ、読書をする習慣をつけることが学力向上に効果的だと考えられる。